

岩見沢市立栗沢小・中学校

【総合的な学習の時間】

■ 地域住民の協力による特産農産物に関する体験活動（グローバル教育）

★活動に関連する目指す子ども像

「グローバルな視点でSDGsを理解し、ローカルな視点をもって、栗沢で『働くとは何か』を考えられる子ども」

□ 活動の概要



9年間を通じた地域貢献活動のテーマを設定し、グローバルな視点でSDGsに関する理解を深めることをねらいとして、持続可能な社会の実現を意識するとともに、ローカルな視点で地域住民と連携を図り、栗沢の豊かな自然環境を生かし、特産物のヤーコンを活用した地域の活性化に向けた取組を行っています。

□ 活動の具体

- ・地域住民の協力のもと、ヤーコンに関する理解を深め、収穫及び調理体験を行ったり、生産・加工・販売について、海外への輸出など、国際的な視点をもって学習したりしています。
- ・ヤーコンを利用したオリジナルレシピを考案し、調理したり、試食したりする活動を行っています。
- ・小中合同の発表会で地域住民や保護者にヤーコンを用いた料理について発表し、試食会を行っています。
- ・地域で生産された規格外商品を集めて寄付するなど、自分たちで取り組めるSDGsの取組を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・地域学校協働本部の協力のもと、小中合同の発表会を地域に公開するなど、小中一貫校の強みを生かし、9年間を通じた「グローバル教育」を教育課程に位置付けています。
- ・9年間を通して、児童生徒が地域住民と交流する学習を学校行事と関連させて教育課程に位置付けています。